

new Shidekashi

MONT K

5
2008

4月27日に初台 The DOORS にて「小川杏奈 14th Birthday Party」が行われました。まずは事前にメンバーたちで行われた前夜祭を上演。パスタやケーキを幸せそうに食べている杏奈ちゃんの笑顔が輝いています。続いて、メンバーから杏奈ちゃんへのメッセージも上演されました。『恋する二人』を歌いながら杏奈ちゃんが登場します。前夜祭では、メンバーみんなが祝ってくれて、パスタやケーキも美味しくて今までで一番嬉しかったとのこと。みんなからのメッセージを今日初めて見て、個性が出ていると感じたそう。学校の友達にも祝ってもらって年をたくさん取っちゃいそうと杏奈ちゃん。去年は中学に入ったばかりで、友達に誕生日を知られていなくて祝ってもらえなかったが、今年はクラス便りの自己紹介覧に載せてもらえて、たくさんの友達がお祝いしてくれたそう。玉ちゃん曰く中二が一番楽しい時期とのことで、友達という時間を大切にしたいと杏奈ちゃん。感謝の気持ちも伝えていきたいそう。中二は「中心となって学校の背骨になりなさい」と先生に言われて、SKi でも当てはまると感じたとか。縁の下の力持ちとなって、SKi を支えられるように頑張りたいと杏奈ちゃん。いつも周りで支えてくれる家族やメンバーに感謝の気持ちを忘れずに14歳を過ごしていきたいと抱負を語りました。続いて『恋のメロディ』を披露。可愛い曲でいつも歌わせてもらって、杏奈ちゃんの中では定番の曲になっているそう。ここで杏奈ちゃんが考える初恋の話を披露(^^)。ちょっとしたことで嬉しいのが初恋だと思うとのこと。でも、ちょっとしたことで落ち込むのも初恋だそう。色は薄ピンクで甘酸っぱい感じがするとのこと。でもハッピーエンドにはならないと思うそう。「それがあるから次の恋に進める」と杏奈ちゃん。近況では、学校で採血したそう。血を見るのが嫌で、ずっと後ろを向いていたらしい。ギリギリまで嫌がっていたが、あっという間に終わったとのこと。ちなみに4年生まではいつも泣いていたらしい。採血した日は安静にしていなければいけなかったのだが、レッスンがあって思いっきり踊ったら鼻血が出たそう。次の日は止まらなくなって、保健室が閉まっていたので職員室に行ったら緊張して余計にひどくなったらしい(^^;)。『初恋』を披露した後、「大好きなケーキをプレゼントしちゃいます」と杏奈ちゃん。お客さんから歓声が上がります。ショートケーキとチョコレートケーキがあり、好みを聞きながら橋本・清水・玉野・香取の4人が配ってくれました。ここからバースディライブに突入。まずは『Candy I Love You』。可愛い曲で、ずっと歌いたかったそう。続いて『あの素晴らしい愛をもう一度』をオリジナルバージョンで披露。CDにアレンジされた曲が収録されていますが、今回初めてオリジナルを聞いたらしい。『パリの恋人』は中期で好きな曲、『天使のアイス』はスポーツ大会のコールで初めて知ったそう(^^;)。ここでお客さんから『Happy Birthday』の祝福があり、杏奈ちゃんからお礼の言葉が。SKiに入った頃は学校やレッスンで毎日が大変だったが、温かく迎えてくれるお客さんの顔を浮かべて元気になったそう。ファンレターで励ましやアドバイスなど、栄養になる言葉をたくさん頂いて成長出来たと思うとのこと。いつも支えてくれるみなさんに感謝の気持ちを忘れずに頑張っていくので、仕事があるなんて言わないでイベント来てくださいと杏奈ちゃん(^^)。『Lucky Sunday』、『うたかたの夢』に続いて、最後に私の気持ちと『Very Happy』を披露して、お誕生日会は終了しました。



同日に「かりん党結成式」が行われました。まずは優花ちゃんが登場。玉覧が 100 回を迎えたことに感動していました。かりん党については、党首が小学生でちょっと心配な様子。でも一応立派な先輩で、更にその先輩もいて支えてくれるので大丈夫とのこと。続いて玉ちゃんが背広姿で登場。メンバーには「保護者」と言われたとか。玉ちゃんは晴れて高校生になりましたが、早くも英語で苦戦しているとのこと。なぜみんなわかるのか？と叫んで友達にうるさがられているそう(^;^;)。英語を無くしたいと玉ちゃん。祐奈ちゃんは幹事とのことですが、密かに党首の座を狙っているらしい(^;^;)。世の中の教育をなんとかしたいと祐奈ちゃん。年金の問題など気になっていることも多いようだ。かりん党が出来たことで日本が良くなるように応援したいとのこと。かりん党の行事では、ツアーで無人島に行き、初心に戻ってサバイバルゲームをしたいと提案します。彩音ちゃんは唯一の黨員とか。党首が小学生なので、陰から支えることにしようと参加したとのこと。党首が困ったらすぐに駆けつけたいと抱負を語ります。彩音ちゃんの意気込みに触発された玉ちゃん、「一番年上なので私が引っ張って...」と言いかけますが、「これは悪い例なので、こうならないように」と彩音ちゃん(^;^;)。いよいよ党首が登場して、『政党宣言！』を披露します。国民の皆さんが楽しい生活を送るために結成したと花梨党首。表明式では「私たちは良いことをかりんかりんします」など、政党宣誓を宣言。シンボルマークを作ったとのこと、国民のみなさんにステッカーを配ります。おでこに貼ってくださいと花梨党首。党首みずから絵を描いたそう。幸せの国は風船が飛んでいるイメージがするとのこと、風船も添えられています。そして党則を発表。『成績はいつもトップで』に無理です！と即答する玉ちゃん(^;^;)。「無理なことには挑戦しない」とお婆ちゃんからの言い伝えが...と祐奈ちゃん。早くも崩壊の危機が。『党首の私より目立たないこと』も微妙な反応です。そして『一日一回おやつにかりんとうを食べる』『髪の毛は結んでおく』『いつも可愛くいる』『お年寄りを大切に』『いつまでも若さを保つ』『政治家として責任を持つ』『勝手に裏金を作らない』『税金を無駄使いしない』と続きます。裏金は勝手じゃなければいいのかな(ぼそ)。続いてかりん党大会を開催。国民のお客さんに意見を求めて、良い答えにはかりんとうがプレゼントされるとのこと。かりん党を広める為に可愛いイメージガールを作るという意見に、「もういます」とアピールする花梨党首(^)。シンボルマークをりりかちゃんに描いてもらうとの意見も。後援会の会長として杏奈ちゃんが登場。玉ちゃんの推薦で会長になったとのことですが、「私はノリで...」と言う杏奈ちゃん。変なことを言うと困ると冷や汗をかく玉ちゃん、青いハンカチで顔を拭い、ハンカチ王子と呼ばれます。背広一式を父から借りて来たらしい。母からスーツを借りて来た彩音ちゃんと、制服姿の花梨党首が一緒になると親子の出来上がりです(笑)。そんなかりん党を応援する為に、汗水流して頑張りますと抱負を語る杏奈ちゃんでした。飛び入りで妃奈子ちゃんも登場して、『悲しみをかりんに乗せて』を披露しました。余興として、記憶山手線ゲームを開催します。花梨党首が見事優勝して、党首の面目を保つことが出来ました。今後の活動も楽しみです。



同日に「万歳アメリカ帰国記念パーティ」が行われました。Petty Booka としてアメリカを廻っていた二人、その報告会として、お土産話満載のイベントです。今回は THE DUET として登場。Petty Booka とは立ち位置が逆なので、複雑そうです(^;^)。PettyBooka は 12 年前に誕生して、ブルーグラスやカントリーを歌っている襲名制のユニットで、二人とも 4 代目になります。ほとんどがカバー曲ですが、アレンジされていて原曲とは全然違うイメージと美香ちゃん。英語の曲ばかりで、覚えられたのが奇跡と真冬ちゃん(^;^)。Petty Booka をプロデュースしている麻田浩さんと共演したのがきっかけで二人が襲名することになったが、その時からアメリカ行きが決定していてビックリしたそう。CD も今までにたくさんリリースされていますが、せっくなので自分たちの声でもと美香ちゃん。3 代目はお姉さんの感じでイメージが違うそうで、私たちなりの Petty Booka にすればいいかなと真冬ちゃん。アメリカについては、怖いイメージがあったそう。お金をトラベラーズ・チェックで持っていったのは真冬ちゃんだけだったらしい(^;^)。温かい場所に感じて次から持ち物などが変わりそうと発言。いきなり締め言葉みたいと美香ちゃん(^)。昨年の 10 月から英語やウクレレを猛特訓したそう。美香ちゃんはギターのコードとこんがらがったこともあるらしい。でもウクレレは軽いので扱いやすいそう。上達するために英語で日記を書く宿題を与えられたそうで、今まで一番辞書を引いたと真冬ちゃん。でも、辞書に出てくる単語が優先されて文章が書かれていたらしい(^;^)。今も書いていますか？と聞かれて否定していたよう。集合場所を出発の前日に決めたが、「成田空港って駅なんですか？」と真冬ちゃんが聞いてきたらしい(^;^)。搭乗する便によってターミナルが別れていることを当日に理解したよう。空港では、美香ちゃんのトランクのローラーが壊れていて、左右にふらついたり急に止まって跨いだりしたのを楽しく見ていたと真冬ちゃん。飛行機では中国語の字幕で英語の映画を見ていたと美香ちゃん。感動して泣いたが、後に日本語版で見たら全然違ったとか(^;^)。真冬ちゃんは熟睡していたよう。乗り換えでシカゴに到着。手続きで何が飛び出すかドキドキだったと真冬ちゃん。待ち時間も長く、ほとんどの時間を空港で過ごしたとか。美香ちゃんが英語のドリルのような物を買ってきて真冬ちゃんに渡したが、「何これ？」みたいな顔をされて寂しかったとのこと。適当に単語を入れたらおもしろい意味になるそうですが、元々の意味がわからないのでつまらなかったとぼやく真冬ちゃん。ようやく目的地のオースチンに着いたら、夜中でもたくさんの人でビックリしたそう。二人を見かけて「Petty Booka ですか？」と声を掛けられ、有名になった気分と真冬ちゃん。スタッフからは、意味がわからなくても笑って「サンキュー」と答えていればいいからと言われたそう(笑)。初日はホームシックみたいな感じもあったと真冬ちゃん。でも二日目からは慣れてすっかりアメリカ人気分だったそう。良かった思い出は、現地のミュージシャンとふれあえたことと美香ちゃん。メールアドレスの交換もしたそう。必死で「ノートパソコン、インターネット」と主張していたと真冬ちゃん。『パソコン』で日本語なんだけど…。悪かった思い出では、飛行機に乗り遅れたことがあるそう。団体で案内された出発ゲートが違って、慌てて正規のゲートに行ったがすでに飛んでしまった後だったとか。キャンセル待ちで少しずつ乗って、なんとか次の日のライブに間に合ったそう。

英語やウクレレを指導してくれていて、一緒にアメリカを廻った Taro さんをゲストに迎えてアメリカでのステージの話などで盛り上がります。美香ちゃんはギターの演奏もして、ウクレレからチェンジしている間を真冬ちゃんが繋ぐのに、英語で満足にしゃべれないので大変だったそうだ。「シカゴ」を日本語発音で言ってしまうスタッフが一斉にずっこけたらしい。たくさんの場所に行ったが、どこでも「アメリカ」と言えばよかったと後で気づいたそうだ。アメリカ人はわからないとホントに冷たいと美香ちゃん。かなり痛かったようだ。伊東正美さんも加わり『グレートフル・デッドを聴きながら』を披露。この演奏でギターの弦が切れ、さっそく真冬ちゃんが繋ぐことに。「英語で」と声が掛かって「そんな～」とヘソを曲げる真冬ちゃん、「真冬と Taro のワクワクミュージックへようこそ」と咄嗟に Taro さんを巻き込みます。真冬ちゃんを相手に戸惑う Taro さんでした。正美さんからギターを借りて準備が整ったと思ったら、「次の歌はそんな感じで大丈夫ですか？」と遠回しに言う真冬ちゃん。次は正美さんがそのギターを使う予定の曲で、慌ててギターを返します(^^;)。さらにワクワクミュージックは続きました。そんなハプニングを感じさせずに、しっとり『海とりんご』を熱唱。話は尽きなく、あっという間に終わりの時間が近づいてきます。いろいろあって、全部話すには後5～6時間は必要と美香ちゃん。続編が期待されます。アメリカでは自分から進んで英語を話さなかったが、ファーストフードで一度ハンバーガーを頼んで通じたのが嬉しかったと真冬ちゃん。でも、わからない言葉にイエスと答えていたら、チーズバーガーになってビックリしたそうだ(^^;)。訳のわからない YES は危険です。「I can't speak English」は一回も言わなかったと真冬ちゃん。「相手が自然に話せないのをわかってくれたと…」と深読みする美香ちゃんでした。アンコールでは、飛入りでスペシャルゲストも登場。「PANTA さんです」と紹介されて、出てきたのは妃奈子ちゃん(^^)。どうやら PANTA さんに引っ張ってこられたらしい。楽しく話を聞かせてもらいましたと PANTA さん。その場で打ち合わせをして『心のフリーウェイ』を歌うことに。準備の時間を利用して、「シカゴにいるつもりで会話して」と真冬ちゃんに振る PANTA さん。すかさず正美さんに「ハンバーグ屋の店員」と指名します。片言の英語で「ハンバーガー・オンリー・ジャスト・ワン」とオーダーする真冬ちゃん。正美さんも「No grede?」「No ketchup?」と聞き返します。「イエス」を繰り返しているうちに「Hamburg only?」と正美さん(笑)。ようやく気付いた真冬ちゃん、否定する為に「ウィズアウト・ハンバーグ」と発言(^^;)。最終的に「ブレッド、ハンバーグ、レタス、トマト、ケチャップ、ソース、アンド、ブレット、サンド」と真冬ちゃん。「凄いことになってきた」と笑い転げる PANTA さんでした。「店員さんは正美さんみたいに意地悪じゃないから」と真冬ちゃん。実際にこれで頼んだらしい。チーズバーガーに化けたのうなずけます。ドイツのハンブルグで頼んだらどうなるかなと PANTA さん。今度はドイツツアーかな？

今度一緒に行きましょうと美香ちゃんが誘いますが、俺たちだけで行こうかな？と PANTA さん(^^)。準備が出来たところで熱唱、盛り上がって終了しました。



4月26日に代々木のBC WORLD ビルにて「第12回プロマージュ祭」が行われ、元7期生の河野未佳ちゃんが出演しました。『未来のトピラ』でオープニング...と思ったら、イントロでフェイドアウト(^^;)。しばらくして『ねえ』が掛かり、ラフ×2のメンバーが登場し、歌を披露します。いつの間にか、ラフ×2学園の「学園」が取れています。最近では学園コントがなくなったからなあ(ぼそ)。今回も曲中心で構成されていましたが、神庭あやちゃんがプロデュースしたとのことで初挑戦の曲もたくさん含まれていました。『桃色片思い』に未佳ちゃんも挑戦しますが、歌詞を間違えて舌をべろりと照れ隠し。「知らなかったんだもん」と訴える未佳ちゃん、やっぱり古い曲しか...、以下自粛(笑)。4月から大学生の黒田彩ちゃん。「大学生になってしまった」と発言して未佳ちゃんに突っ込まれます。田中瑞希ちゃんも高校生になり、「若さとフレッシュで頑張ります」と意気込みを。精一杯頑張りますと児玉まりなちゃん。高二に成れたと神庭あやちゃん。睡眠学習をして先生に目をつけられたとか。姉のみほちゃんはずみの卒論のテーマを考える時期になつたらしい。大学4年になってあと1年で卒業で寂しい気持ちと原田朋実ちゃん。「留年すれば？」の声に「しません！」と即答(笑)。そして未佳ちゃんは「春から高校生に...」と言いかけて突き飛ばされます。回を増すほど朋実ちゃんのツッコミが激しくなってきました。環境が変わった二人に「新しい友達をたくさん作って成長してください」と先生らしい言葉をかけて、そういえば Teacher だったと思い出します(^^)。一番心配なのは妹と未佳ちゃん。なんと、合唱コンクールの指揮者に選ばれたそう。試しにやってみますが、かなり不安です。まだ曲が決まっていなくて、『未来のトピラ』と客席から声が掛かり、「みんなで広めよう」と未佳ちゃん。途中で前回コンドマニア優勝者のローハイズのコントを披露。橋爪さんのパワーに圧倒されました。二人とお話ししようと未佳ちゃんと朋実ちゃんが出てきます。同じように拍手で迎えられ、コントはしませんとお客さんを制止します。後半に入る前に、朋実ちゃんが「歌詞飛ばさないよう気をつけてくださいね」とチクリ(笑)。アンコールではお客さんにつられて「オマケ」と言ってしまう未佳ちゃん。最後は『未来のトピラ』で盛り上がり、ついに終了しました。次回は5月25日に決定したそう。



同日にマグマニア # 1 が行われました。今までのコンドマニアから名前が心機一転スタート。でも内容は前回同様でした(^^;)。今回の芸人さんは和田えいじ、禁寺松二月、ピンクコレクション、マリッジブルーこうもと、Par-Do、大木三郎、ローハイズの7組。その後プロマージュ芸人がネタを披露。未佳ちゃんは瑞希ちゃんと組んでコントを披露。そろそろ結婚に憧れる年頃と発言して、瑞希ちゃんに「起きてますか？」とほっぺをつねられます(^^;)。「未佳さんは綺麗だし優しいし、料理もうまいから男性が放っておかない...」と言いかけて、嘘をついてしまったと泣き出す瑞希ちゃん(笑)。未佳ちゃんのおばさんキャラもすっかり定着して大爆笑のコントでした。今回はローハイズとマリッジブルーこうもとさんの同率優勝となり、次回のプロマージュ祭りはダブルゲストで行われることになりました。



ちいさなしでかし

4月29日に新宿シアターミラクルにて「メルシートウライブ Vol.1」が行われ、元7期生の河野未佳ちゃんが登場しました。未佳ちゃんもTEAM Blue Mountainの一員として参加している芸能界女子フットサルリーグのメルシートウフェスタのお笑い編?として、このライブが企画されました。普段ボールを通して戦っている者同士がマイクを武器に競います。大勢のお客さんを笑いの渦に巻き込んで、白熱した戦いが繰り広げられました。未佳ちゃんは昼の部はピンで登場。女の裏事情をするどく披露します。夜の部は、田中瑞希ちゃんと一緒に河野瑞希として登場し、おばさんキャラを強烈にアピール(^.^;)。他の芸人さんに負けずに観客を楽しませていました。途中アトラクションとして、参加した芸人さんたちとゲームコーナーを。未佳ちゃんはチーム対抗の早食い競争に挑戦。チームのメンバーが交代しながらリッツ1箱、コーラ1.5リットル、カップラーメン1つを完食する時間を競いますが、ちょっと控えめに食べる未佳ちゃん。カップラーメンはかなり熱かった様子でほとんど汁は飲んでいなかったようだ。残念ながら未佳ちゃんのチームは敗戦。コーラ500mlを飲んだ後ゲップをしないで参加チーム名を言うという罰ゲームがありましたが、他のメンバーがチャレンジ。未佳ちゃんもアピールして出て来なきゃ。夜の部は最強(凶?)運決定戦。あみだくじで半分の出演者が選ばれ、カラシ入りのシュークリームに当たった者が決勝に進み、最後はストッキングを被って引っ張り合い、残った者が優勝というゲーム。こちらも未佳ちゃんは抽選で敗れてアピールすることは出来ませんでした。次回参戦した際は、もっとアピール出来ると良いですね。



4月23日にメトロスクエア「Live Pocket GARDEN Special」が行われ、お昼のひとつきにPetty Bookaが出演しました。周りにおしゃれな屋台も出ていて、お昼時とあって賑わっていました。ライブの方はトークから始まります。先日アメリカツアーを行って来たとPettyちゃん。移動が多くて睡眠時間が少なかつたらしい。出発前は、英語やウクレレの練習で大変だったようだ。食事を取りながらステージを見ている方もたくさんいて、「美味いご飯食べてますか?」とBookaちゃん(^.^;)。二人はまだご飯を食べていないらしい。続いて『CHOTTO MATTE KUDASAI』を披露。ご飯を口に入れようとする度に「♪チョットマッテクダサイ♪」と歌われて、思わず手の動きが止まるお客さんもいたとか(笑)。今後の予定で、7月25日に曙橋バックインタウンでワンマンライブが決まったそうだ。終演後は小規模の物販があり、訪れたお客さんと会談していました。



